

## 数値目標について

第四次循環型社会形成推進基本計画（平成 30 年 6 月・環境省）に示された、循環型社会のための指標・数値目標一覧に記載された、基礎自治体の一般廃棄物に関する目標は、以下のとおりです。

表 1 循環型社会形成のための指標・目標値一覧（抜粋）

指標	数値目標	目標年次
1 人 1 日あたりごみ総排出量	約 850g/人・日	2025 年度
1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量	約 440g/人・日	2025 年度
事業系ごみ排出量	約 1,100 万トン	2025 年度

上位計画である関市第 5 次総合計画総合計画に掲げる目標数値については以下のとおりです。

表 2 関市第 5 次総合計画に掲げる数値目標（2018~2027 年）

指標	単位	2016 年 (現状)	2022 年 (中間目標)	2027 年 (最終目標)
1 人 1 日あたりごみ総排出量	g/人・日	963	867	847

施策の効果を反映した目標項目の推計結果は、以下に示すとおりです。人口減少によりごみの総量は減少していますが、1 人あたりのごみ排出量が増加傾向を続けていることから、施策の効果を反映した 1 人 1 日あたりごみ総排出量、1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量の推計は、いずれも国の目標値を大きく上回っています。また、関市第 5 次総合計画に掲げる数値目標とも大きくかけ離れています。

目標値設定の考え方には以下の方法があります。

- ・国の目標値に合わせた厳しい（現実的でない）目標を設定する。
- ・将来、国の目標値を達成することを目指す。
- ・増加を止めて現状を維持する。
- ・増加することは仕方ないこととして、施策の効果による減少分を目標とする。

この中で、2025 年に国の目標と 2027 年に総合計画の目標を達成することは厳しいと考えられることから、1 人 1 日あたりごみ総排出量、1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量は 2035 年に国の目標を達成する目標を、事業系ごみ排出量は施策後の推計の数値を目標とします。

表3 数値目標案

指標	単位	2019年 (現状)	2035年 (推計)	2035年 (目標)
1人1日あたりごみ総排出量(現状の推移)	g/人・日	956	967	850
1人1日あたりごみ総排出量(施策後予測)	g/人・日		912	
1人1日あたり家庭系ごみ排出量(現状の推移)	g/人・日	548	565	440
1人1日あたり家庭系ごみ排出量(施策後予測)	g/人・日		557	
事業系ごみ排出量(現状の推移)	t/年	10,422	10,911	9,521
事業系ごみ排出量(施策後予測)	t/年		9,521	

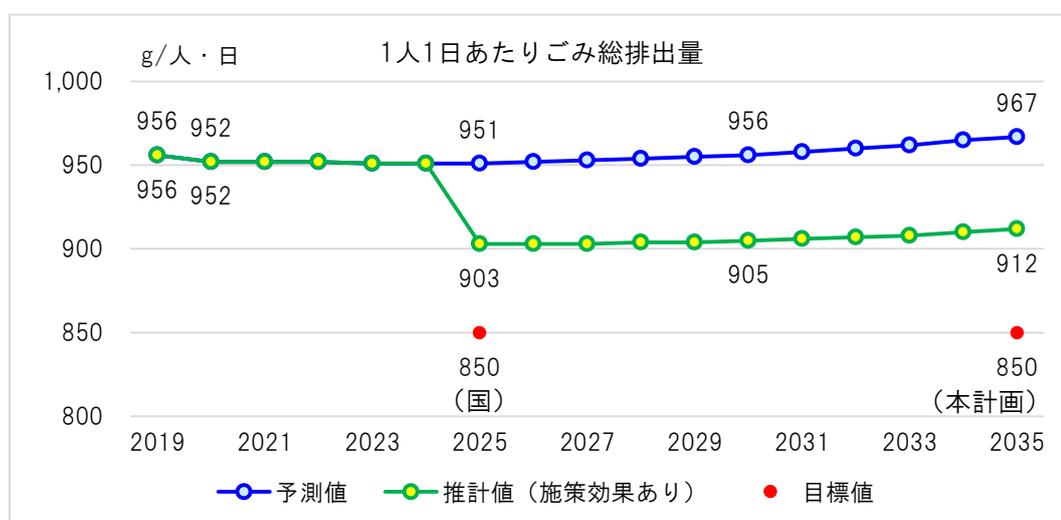


図1 1人1日あたりごみ総排出量

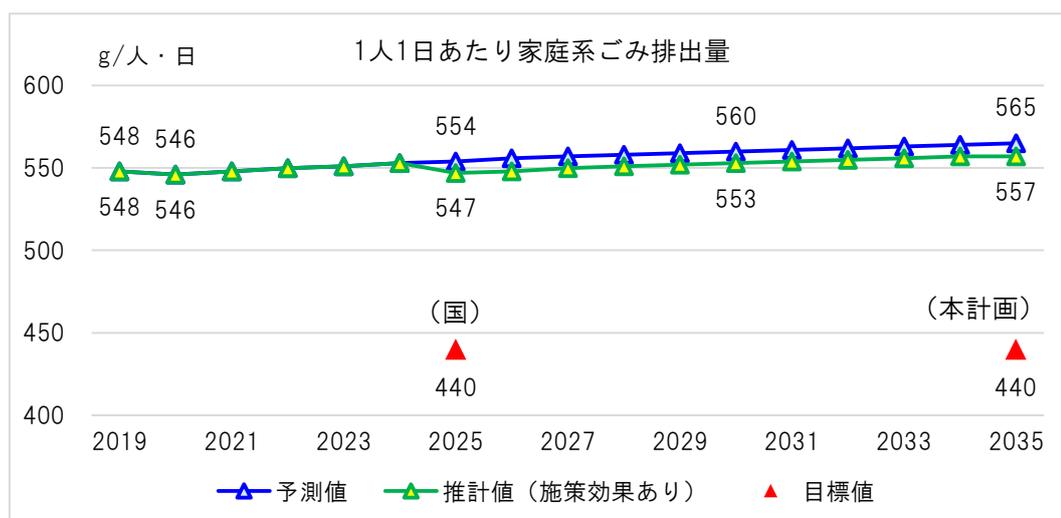


図2 1人1日あたり家庭系ごみ排出量

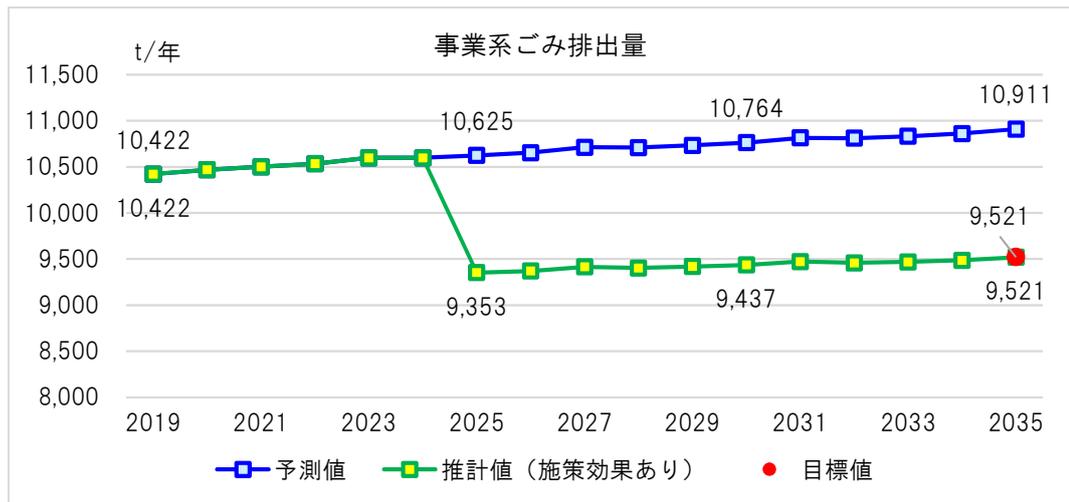


図3 事業系ごみ排出量